

SYDかわらばん

〈最新活動情報 No.175〉 2023年6月22日号

かわらばん特別企画「修養団と私」

昨年1月号よりスタートいたしました「修養団と私」。毎月、他の組織との交流のきっかけや運動推進の原動力として、各地で活動されている方々に特別寄稿いただいております。

修養団と私

修養団美幌会 会長 田口 義全司

美幌町はオホーツク海の内陸に位置し、カーリングで国際的に有名な北見市、修養団端野会のある旧端野町、海難事故騒ぎのあった知床との中間に位置する農業を主体とする町です。

修養団美幌会は、会員が半減し現在は21名の少数の会です。人口は28,000人から18,930人へ減少するなか、修養団会員も減少し活動範囲も縮小、以前とは比較すら難しい現状にあります。現在、私(会長)も副会長の八城君子さんも後期高齢者ですが、八城副会長の経験と実行力によって「皇居勤労奉仕」を続けてきました。この時参加された方々に呼びかけて新規会員になるよう働きかけたものの、コロナ騒ぎで計画倒れしたのが惜しまれますが、今期再開の途を歩んでいるところです。かつての青年部も60代となりましたが、我が子を会員にしようと4名の新会員が誕生したことは救いました。



美幌キャンプにて挨拶する田口さん(2012年)

修養団と私との関わりですが、町の教育委員会新設年の昭和27年12月に役場職員となり社会教育係を拝命し、隣の津別町チミケツ湖湖畔で開催された修養団講習会に町から3名派遣されたなかの1人でした。その後、伊勢道場(現伊勢青少年研修センター)の講師から、「転職して伊勢で来ないか」と手紙をもらった記憶があります。在職中は仕事の関係によって活動から遠ざかっておりましたが、

平成6年に役場を退職後、社会福祉協議会に再就職し、平成7年に八城副会長に勧誘されて入会いたしました。修養団活動については、年一度の全国修養団運動推進会議に何回も出席し、会議後の修養団よぎっ子倶楽部の会で、全国の仲間と談笑したこと等が思い出され懐かしく感じています。仲間があつての会だと思っております。

今年度の功労者表彰で八城副会長は名誉団員称号を、私は特別賞「蓮沼賞」をいただきました。八城副会長は、人望も厚く仲間の相談相手となり陰に陽に会を支えてくださっておりますから、大黒柱があつての美幌会だと自慢できる会と思っております。



講師・宝井琴鶴さん(当時は琴柑さん)を招いたイベント(2015年・左から3人目が田口さん)

田口 義全司さんへ「質問コーナー」

① 好きな言葉 → 「総親和・総努力」

私は弓道4段(日本弓道連盟)であるが、的を射る時は平常心を欠いてしまう。身体のバランスが乱れるのである。何事にも通ずるバランス感覚は、自己を中心として、精神統一の一瞬時に矢を放つのであるが、上手いかわらないのが常であった。

平常心は「総親和・総努力」がここに適中するものと思っている。

② 私のおすすめの本 → 「西郷隆盛に学ぶ」

ゴルフで九州に旅行したとき、寄り道で展望台のある丘に登ったときに、出店に並んでいた単行本。どんな人物だったか興味を持って読んだ本。今日までの日本の歴史をこの本で学ぶことができた気がする。

- ③ 好きな食べ物 →「メロン・スイカ、野菜類、甘酒」
- ④ 趣味
→ 若い頃は、弓道、ゴルフを楽しんでいたが、現在はメロン・スイカ・家庭菜園健康野菜作りに努めている。
- ⑤ 最近はまっていること
→ 温床(ハウス)栽培で高級野菜を育てることにまわっている。苗床づくり、適温管理など忙しい毎日収穫の喜びを修養団の仲間と分かち合うのが楽しみである。
- ⑥ 夢(子どもの頃と現在)
→ 子どもの頃は、新聞記者
現在の東洋大学に入学したが、志し一年で中退し故郷に帰り、地方公務員となった。東京は復興途上で戦争の焼跡残っていた当時は、集団就職全盛期で上野駅は大勢の人が乗降していた。
・今は静かに一人旅(身体が動けるうちに)
- ⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ
→ 「人として生きている限り、生命の源である強い精神と肉体を養って仲間をつくろう」私は妻も失い娘も若くして失っている。残された障害をもつ孫ひとりを世話を生きている90歳の男である。生きる望みは、神でも宗教でもない、仲間なのである。修養団の仲間が心の支えだと念じて生きている。

➡ご感想やメッセージなどありましたら、ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

主催事業・活動等

報告

5/19…第1回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」「大道をゆく」27人〔東京都渋谷区・SYD会議室〕
《板倉和也》



本年度第1回として、板倉和也講師補が、修養団青年部信条である「大道をゆく」やお釈迦様の教え、ヒンドゥー教の教義などを題材に、修養団の基本的な考え方や「幸せ名人」になるためのヒントを講演した。

6/10～11…ボランティア・アクションin美幌
〈協力:修養団美幌会〉13人〔北海道美幌町・グリーンビレッジ美幌〕
《岡村精二、板倉和也》



美幌町内の高校生はじめ社会人が参加。

美幌町社会福祉協議会・黒澤頭さんの指導による車いす体験では、普段と違う目線に怖さを感じ、車いすを使用する方への声かけや手を差し伸べることの大切さを学んだ。特別講師・岡村精二氏の講話では、「夢にむかって自信を持って努力したい」「『いつか』はやってこない」の言葉が印象に残った」という参加者からの感想があった。

ボランティアの実践として、修養団美幌会の皆さんと一緒に地元的美幌神社を清掃奉仕し、汗を流しながら境内の草取りなどをおこなった。普段は入れない社殿の窓ふきや床みがきをするなど、貴重な体験となった。

6/12…「愛と汗”幸せの種まきセミナー(講演会)美幌」〈協力:修養団美幌会、SYD修養団端野会〉“縁は人生の宝(今を生きる)”43人〔北海道美幌町・しゃきとプラザ〕
《岡村精二、志村和也、板倉和也》



本年2月10日「全国修養団運動推進会議」での岡村精二修養団宇部市連合会会長による記念講演を拝聴した会員から、講演依頼があり実現。平日にも関わらず多くの方々が集まった。「私たちの世代がこれから頑張っていくのです」という熱いメッセージや子どもたちへの教育に対する深い愛情、岡村氏の両親との心温まるエピソードに、会場は涙に包まれた。



★「WAKU×2ボランティアリーダー研修会」
6/10～11…桧原湖畔 17人〔福島県北塩原村・ばん
だいふれあいびあ〕《三瓶利正、谷野渉、増田航介》



福島県レクリエーション協会の佐藤喜也さん
からレクリエーションの意義のほか、リーダーの
心構えを学んだ「相手より少し身を低くすること」
が多くの参加者に印象強く残った。

キャンプファイヤーでは劇を考えることの難し
さや劇を楽しみ、お互いを喜ばせることを体験か
ら再認識した。

6/17～18…北九州 9人〔福岡県北九州市・市立玄
海青年の家〕 《板倉和也》
※詳細次号

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】
《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

報 告

6/3 長崎県立大学国際協力サークル NICC 30人
6/17 埼玉県久喜市立三箇小学校 43人

予 定

6/28 沖縄カトリック中学高等学校
6/28 沖縄市立美東中学校 3年
6/29 沖縄県立コザ高等学校 1年2年
6/28 沖縄市立美東中学校 2・3年
6/30 宜野湾市立普天間中学校

予 定

6/23…第15回「チャリティー演芸会」“思いっ
きり笑おう！の巻”〔東京都・SYDホール〕
[出演者] 藤本芝裕(三味線漫談)
宝井琴鶴(真打・講談)
立川らく次(真打・落語立川流)
立川志らら(真打・落語立川流)

6/30…第1回「オンライン青年ボランティアゼミ
ナール」

7/1…第2回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸
せの種まき講演会」“いつも命に向き合っ
て～祖父が照らしてくれた修養団への道～”
《キャリアカウンセラー・牧野理香》

7/9…「子どもWAKUひろば」(東京)“七夕ま
つり”〔東京都渋谷区・SYDホール〕 《板倉和也》

7/18…「後援会役員会」〔東京都・SYD中会議室〕

7/23…第1回「Zoomでオンライン家庭《共育》
ひろば」“整体的子育て～家庭でできる子
どもの手当て～” 《整体ボディワーカー・山上亮》

★WAKU×2ボランティアリーダー研修会
6/24…東京(SYD東京)“七夕まつりに向け
て”〔東京都渋谷区・SYDホール〕 《板倉和也》

7/8～9…鹿児島〔鹿児島県鹿児島市・八重山公園て
んがら館〕 《志村和也》

7/22～23…瀬戸内海〔香川県小豆島町・小豆島ふ
るさと村キャンプ村〕 《板倉和也、林春幸》

★“愛と汗”幸せの種まきセミナー(講演会)
6/25…江差〔北海道・小黒部寿の家〕
《講師・宝井琴鶴、根岸秋吉》

6/25…乙部〔北海道・乙部町公民館〕
《講師・宝井琴鶴、根岸秋吉》

会員組織の主な動き

報 告

6/9…修養団愛汗喜多方「令和5年度総会」19
人〔喜多方市厚生会館〕 《真下淳一、保坂正志》

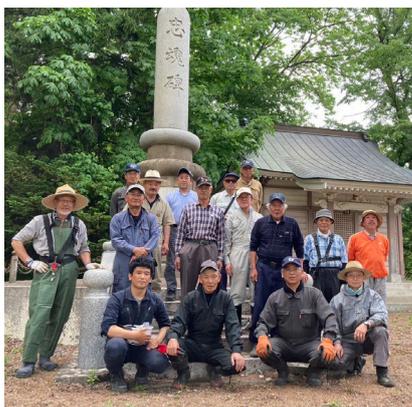


令和4年度の事業と会計の報告のあと、今年度の事業として、「愛と汗”幸せの種まきセミナー”の実施、「日々の力」の学校・公民館への配布のほか、一層の会員拡大と事業実施を推進していくことが確認された。

終了後、保坂正志社会教育部長が「自然随順」をテーマに講演した。

6/11…SYD修養団端野会「令和5年度総会」

14人〔北海道北見市・やきにくや〕 《志村和也》



昼過ぎより、端野神社の戦没者慰霊碑を丁寧にみがきあげたほか、境内の草刈りを中心に作業し汗を流した。

夕方には3年ぶりに対面での総会を開催。令和4年度の事業と収支決算の報告のあと、本年度の事業計画・予算について話し合われた。その後は食事を取りな

がら、和気あいあいと親睦を深めた。

今後同会はSYD本部で実施予定の「幸せの種まき祭り」への農産物提供を予定するなど、引き続き活発な活動を展開している。



6/18…修養団伊勢いなほの会「いなほの学校

2年5組」30人〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕 《保坂正志》



伊勢いなほの会が創立25周年を迎え、プログラムを「学校の日」に見立てた会員研修を

実施し、相互の親睦を深めた。

午前は「家庭科」「国語」として2人の講師による講話が実施され、「給食」をはさみ、午後は「音楽」として和太鼓奏者の青木崇晃さんによる演奏と和太鼓体験会、「放課後」にはビーチボールを使ったバレーボール大会を実施し、笑顔はじけるひとときを過ごした。

予 定

6/25…修養団愛汗郡山「令和5年度総会」〔福島県郡山市・ベルヴィ郡山〕《真下淳一、保坂正志》

7/4…修養団福島県連合会「令和5年度理事会・通常総会」〔福島県郡山市・ヨークベニマル本社〕 《山崎一紀、根岸秋吉、真下淳一》

情報あれこれ

⊗修養団常務理事の選任、および理事の交代

5月19日の理事会にて、理事2名が常務理事に選定された。

また、理事1名の辞任に伴う後任理事候補者が、6月10日開催の評議員会において決議され、選任された。

【新任常務理事】

岩佐 加寿子(修養団総務部長、後援会担当)
真下 淳一(修養団事務局次長)

【退任理事】

新海 一正(日本製鉄㈱常務執行役員)

※職制上の都合により4月1日をもって辞任

【新任理事】

山根 健嗣(日本製鉄㈱総務部長)
※任期は令和6年の定時評議員会終結時まで

辞令(6月1日付)

寺岡 賢 伊勢青少年研修センター副所長
(部長待遇)

山崎 政弘 伊勢青少年研修センター次長待遇
志村 和也 社会教育部次長待遇

<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424

E-mail : info@syd.or.jp

SYD 検索 <https://syd.or.jp/>